

第542回 テレビ岩手放送番組審議会

1. 日 時 2018年6月19日(火) 午後1時30分～
2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室
3. 委員総数 9名

出席委員 7名

委員 長	五日市 知香
副委員 長	三浦 茂樹
委員	大橋 綾子
委員	大内 敦
委員	佐藤 健志
委員	加藤 千晶
委員	渡辺 理雄 (新任)

欠席委員 2名

委員	恒川 かおり
委員	高橋 司

社側出席者

檜崎 憲二 (代表取締役会長)
榎野 信治 (代表取締役社長)
山口 英二 (専務取締役)
青山 尚之 (常務取締役 兼 編成局長)
池田 学 (営業局長)
柴柳 二郎 (報道制作局長)
桑島 広実 (報道制作局制作部部长)
廣嶼 文樹 (報道制作局制作部副部长)

事務局	遠藤 隆 (編成局放送番組審議会事務局長)
	平山 亜希子 (編成局編成業務部副部长)

4. 議 題

1. 6/8 (金) 19:00～19:56

Movin'いわて(ムービングいわて)「鉄神ガンライザー 夢への軌跡」

2. その他

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

- ・ 視聴者からのご意見

6. 意 見

委員側意見

○鉄神ガンライザーに関して、全然知らなかったが、ゼロから誕生して成熟してシリーズ化していく7年の軌跡が感じられ、楽しく見る事ができた。

○登場人物やストーリーの大まかな紹介があるとよかった。

○ガンライザーに色々なテレビ岩手の思いが込められている事を再確認できた番組だった。復興にかける思いが伝わってきた。

○第2作、4年目から体制を一新したということでどういう思いがあって方針を変えられたか知りたい。

○大人も楽しめる内容だった。県内企業との協力ということで宮古金型研究会の技術力、今回出てくる人工型お守りというものがすごく精巧にできていて、本当に素晴らしいなと思った。チームとしての力を感じてすごく嬉しかった。

○3. 11をスタートにして“岩手の子ども達に笑顔を”というスローガンが全然変わっていないところが素晴らしいなと思っていて、それを掲げ続けることで、使命がともなってくるというのを感じていたので、そこはブレないでほしい改めて思った。

○真摯な復興への思いと、子ども達に楽しんでもらおうというアミューズメント精神が融合した結果が、このガンライザーなのかなと思った。

○番組として初めての経験で、スタッフ全員がこういった番組を初めて制作した事にも直驚いた。東京の制作会社が手掛けているのかと思っていて、まさか地元で作っていると思わなかった。

局側意見

○メイキングとして撮りだめした映像をゴールデン枠の番組で伝える事ができて良かった。

○ドラマ経験とかは全くなしで、出演者同様、経験値がなくてもいいからまずやってみようという形で企画を進め、継続して進化させていく感覚で続けてきた番組。

○3年間経ったところでこのままでは頭打ちになるのが見えているので、続けていくために本当の作り方を見ながら学ぶ必要があり、4年目に及川拓郎監督にお願いして快諾して

いただき、シリーズも一新した。

○大人向けという点も考え番組の説明をばっさり落としたが、少しでもいいからやはり入れて分かってもらったほうがよかったと反省している。

7. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

公表の方法

- ① 自社放送 6月26日(火) 11:45-11:52 「あなたと歩むテレビ岩手」
- ② テレビ岩手本社での備え置き
- ③ 読売新聞への掲載
- ④ 自社HPでの掲載 <http://www.tvi.jp/banshin/index.html>